



令和6年度

# 文化庁活動改革（部活動の地域に向けた実証事業等）

地域文化クラブ活動への移行に向けた実証事業

## 山形県尾花沢市

自治体名：山形県尾花沢市

担当課名：教育委員会子ども教育課 教育指導室

電話番号：0237-23-3330

# 1.自治体の基本情報



## 基本情報

面積	372.53 km <sup>2</sup>
人口	13,660 人
公立中学校数	2 校
公立中学校生徒数	298 人
部活動数	15 部活
市区町村の協議会・検討会議等の設置状況	尾花沢市学校部活動の地域連携・地域移行支援協議会の設置
市区町村の推進計画・ガイドライン等の策定状況	中学校部活動等に関する基本方針の策定済

## 地域連携・地域移行における市区町村の現状・課題

### ■尾花沢市の現状

市の人口減少とともに中学生生徒数も減少傾向にあり、令和6年度298人、令和10年度279人、令和13年度には221人まで減少する見込みである。また、令和8年度には、2校の中学校が統合し1校になる予定で生徒交流を行っている。

現在、2校では週3回の部活動を実施しており令和6年度から任意加入制度及び休日活動の完全地域移行に向け、取り組んでいる。

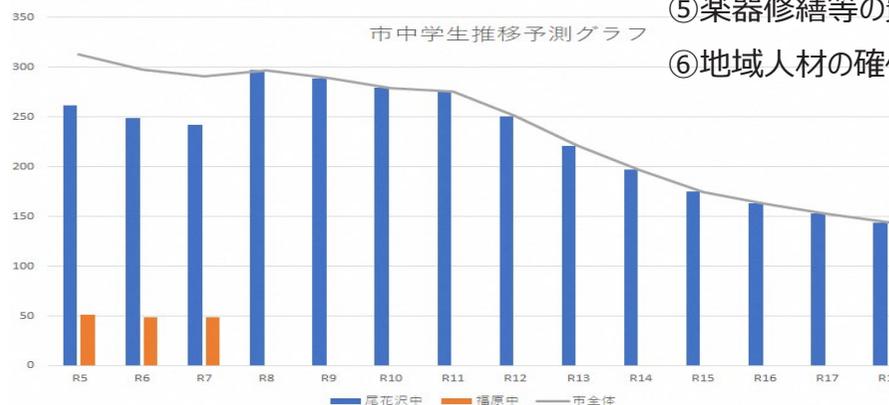
また顧問2名体制で指導を行っているが、顧問は吹奏楽経験者ではないため、楽団音楽家から指導を受けている。

### ■尾花沢市の課題

本市地勢は地の東部および南北地域は奥羽山脈に連なる起伏に富んだ山地、北西部は出羽丘陵の山並みが連なっており、公共交通については、都市部とのサービス水準格差が大きい。

部活動の活動費については、学校によって負担の在り方や種目によつての費用負担に大きな違いがあり、さらに地域活動での負担が上乗せになり費用確保も大きな課題となっている。

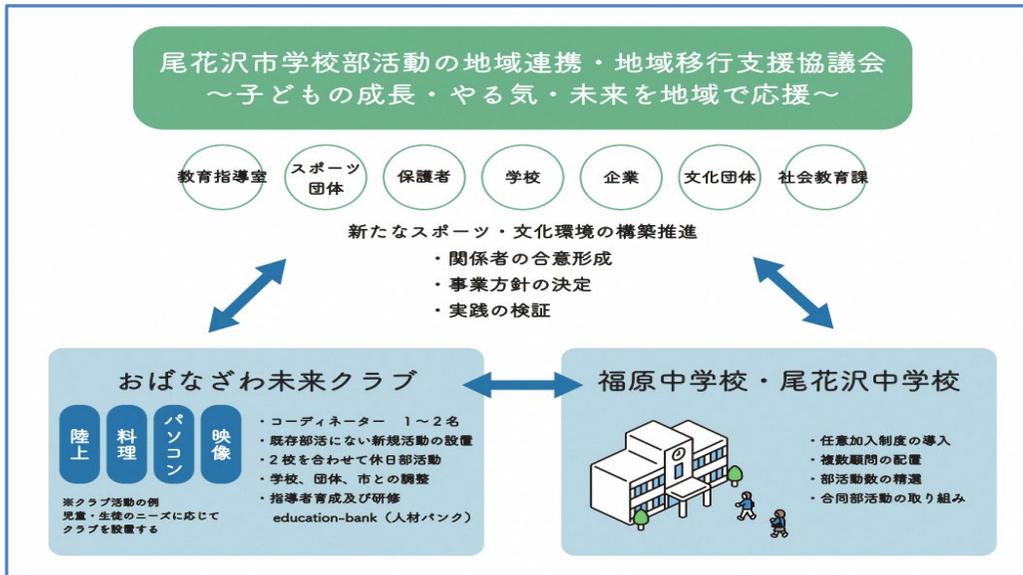
- ①山間部における生徒の移動手段の確保
- ②持続可能なクラブ運営のための経済負担増
- ③地域支援体制の整備
- ④吹奏楽部と地域活動クラブとの楽器共有
- ⑤楽器修繕等の費用負担
- ⑥地域人材の確保



# 2.実証内容と成果

## 運営体制・役割

### ●運営体制図（市区町村における推進体制図）



### ●行政組織内での役割分担

#### ◎教育委員会

- ①学校部活動の地域連携・地域移行支援協議会の運営
- ②おばなざわ未来クラブの設立及び地域人材の確保
- ③任意加入制度の導入及び生徒意向調査（新たな活動の場の創出）
- ④スクールバスの運行

#### ◎首長部局 市全体での支援体制支援

- ①部活動改革に係る行政施設の無償化と調整
- ②教育委員会及び学校との連携・調整

## 年間の事業スケジュール

令和6年4月

- ・「おばなざわ未来クラブ」設立及び活動開始
- ・おばなざわ未来クラブ加入説明会
- ・PTA総会説明会
- ・申込受付開始

令和6年5月

- ・スクールバス調整
- ・文化活動状況調査
- ・北村山高等学校調整会議
- ・市内音楽家及び事業所連携会議

令和6年7月

- ・学校部活動の地域連携・地域移行支援協議会
- ・文化新規活動企画及び協力企業調整
- ・北村山高等学校調整会議
- ・新規クラブ立ち上げのための調整会議

令和6年9月、10月

- ・新規クラブトライアル実施
- ・北村山高等学校楽器賃貸契約締結
- ・楽器搬出、搬入及び修繕開始
- ・中学校との調整会議

令和6年11月、12月

- ・新規クラブトライアル実施
- ・おばなざわ音楽クラブ設立

令和7年1月

- ・中学生生活動実態調査

## 2.実証内容と成果

### 地域文化クラブ活動の運営実績

#### ①全体に関すること

中学校数	2校	実施した地域クラブ総数	2クラブ
ケース別クラブ数	A：部活動を地域移行した形のクラブ数（及び移行された部活動数）		吹奏楽クラブ（吹奏楽部活）
	B：部活動を移行する形態ではない地域クラブ（新たな種目のクラブを新規に創設するケース等）		おばなざわ音クラブ
全体の指導者数	16人	全体の運営スタッフ数	9人

#### ②各クラブに関すること

クラブ名	運営団体種別	種目 ※新規のものは末尾に（新）を付ける	実施回数	実施時間帯	参加者 （学年別）	実施期間	活動場所	指導者数	運営スタッフ数 （他クラブと兼務）	会費	大会参加方法
吹奏楽クラブ		吹奏楽	週2回	土曜日：午前 木曜日：19時	3年 10名 2年 8名 1年 4名	通年	中学校体育館	1人	3人 （内、兼務0人）	年会費 48,000円	吹奏楽コンクール：部活動
おばなざわ音楽クラブ		音楽	週1回	木曜日：19時	中学生2名 高校生1名 大人5名	通年	尾花沢市文化体育施設	15人	3人 （内、兼務0人）	未定	大会参加なし

#### ③その他、体験会やイベント等の開催実績

- おばなざわ音楽クラブ：市内保育園クリスマスコンサート開催 吹奏楽クラブ：おばなざわ祭り パレード協力、自主コンサート開催

# 2.実証内容と成果

## 主な取組例

### ●おばなざわ未来クラブ 活動概要

地域クラブ活動で実施した種目	音楽（弦楽器、管楽器、打楽器） 【新規クラブトライアル】 探求型活動、料理
運営団体名	おばなざわ未来クラブ
期間と日数	音楽：11月～3月/月4回程度 【新規クラブトライアル事業】 探求型活動：9月12日、11月23日 料理：10月19日、11月30日、 12月14日
指導者の主な属性	音楽家 市内事業所 フードコーディネーター
活動場所	市公共施設 事業所内事務所
主な移動手段	保護者送迎 スクールバス 等
1人あたりの参加会費等（年額）	音楽：未定 【トライアル】 探求型：1回500円 料理：無料
1人あたりの保険料	スポーツ安全保険 生徒1人あたり：800円/年 指導者1人あたり：1,850円/年

### ●運営体制図（地域クラブ活動を実施する際の運営体制図）



### ●指導者や運営スタッフなどの役割分担等

#### ●統括責任者

役割：所属クラブの運営把握を行い、未来クラブ全体の調整を行う

#### ●未来クラブ指導者会 4団体

役割：それぞれのクラブ活動の技術指導を行うとともに生徒同士のトラブル、いじめにも保護者、教育委員会とともに対応を行う

#### ●運営補助者 2名

役割：施設使用、バス運行、運営費徴収及び指導者会報酬支払を行う

# 2.実証内容と成果

**ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備**

- イ：指導者の質の保障・量の確保
- ウ：関係団体・分野との連携強化
- エ：面的・広域的な取組

- オ：内容の充実
- カ：参加費用負担の支援等
- キ：学校施設の活用等
- ク：その他の取組



## 取組内容

### ●取組項目名 ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

#### 取組事項

- ①休日活動受入体制整備  
「おばなざわ未来クラブ」設立  
■音楽クラブ立上  
元地域おこし協力隊の音楽家と北村山吹奏楽団の協力
- ②新たな休日活動の立上げ  
地域事業所の
- ③部活動地域移行コーディネーター 1名の配置

#### 取組の成果

- ①おばなざわ未来クラブの設立  
学校部活動の地域連携・地域移行支援協議会により部活動の在り方に関する協議を実施し休日活動受入を4つの形態に定める  
1 スポーツ少年団  
2 保護者主催団体  
3 クラブチーム立上げ  
4 おばなざわ未来クラブ  
それぞれ、保護者と指導者を別にし、保険加入を条件としている。おばなざわ未来クラブは教育委員会で運営を行い、それぞれ加入団体は保護者主体としている。
- ②新たな休日活動の立上げ  
アンケートを行った際に希望する活動がない、料理や映像をやってみたという結果から新規クラブ立上げを企画しトライアルを実施

**おばなざわ未来クラブ活動基本方針**  
尾花沢市学校部活動の地域連携・地域移行支援協議会

1 基本方針  
少子化にあっても「自らの未来を自らの力で切り拓く、たくましい子ども達を育てる」との意識のもと、将来にわたり本市の子ども達がスポーツや文化芸術活動等に継続して親しみ、楽しむことができる環境、機会を確保することを目指す。

生徒の中には、上位大会やコンクールを目指すだけでなく、基礎体力や社会性を身に付けたい、仲間と楽しい時間を過ごしたい、など生徒の志向が多様であることを受け入れ、勝利至上主義に傾倒することがないように、市全体で子ども達の活動を支援していく。

(1)中学校2校における休日活動の地域移行を推進、支援していく  
(2)子ども達の多様な「やってみよう、やりたい」が可能な環境づくりに取り組んでいく  
(3)地域の中に子ども達の「居場所づくり」に取り組んでいく

2 運営体制について  
(1)事務局の設置  
中学生の多様な文化芸術・スポーツ等の活動を推進するため、活動団体の円滑な運営を支援する事務局を教育委員会内に設置し、役割を以下のとおりとする。

①おばなざわ未来クラブの運営  
②部活動地域コーディネーターの配置  
③学校や市内外の団体との連携及び調整  
④市内中学生の活動施設の調整  
⑤地域移行やクラブ活動についての情報発信  
⑥指導者の確保及び指導者の資質向上のための年2回以上の研修会実施  
⑦クラブ活動の際の交通支援  
⑧保険加入(指導者及びおばなざわ未来クラブ加入生徒等を事務局負担とし、保険適用範囲については活動中のケガ及び保護者送迎中の事故等があった場合にも適用するもの)に加入する  
⑨その他

#### コーディネーターの具体的な動きの実績

1. 中学校PTA総会、部活動保護者会長会などで部活動改革について説明会を実施
2. 中学生活動団体の状況把握を行い、各指導者との打ち合わせ会を実施
3. 各団体からの相談を受け、必要に応じ保護者会を実施
4. 新たな活動の企画会議を実施し、協力可能な地域人材や事業所と交渉

#### 今後の課題と対応方針

1. それぞれ活動団体で持続可能な運営のための課題整理を行う
2. 吹奏楽においては、中学校での活動目的がコンクールでの順位だとすると地域活動での目的が音楽を楽しむことであり、地域移行の受け皿として機能しないため中学校中文連や大会の在り方についても見直しをする必要がある

# 2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

**イ：指導者の質の保障・量の確保**

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



## 取組内容

### ●取組項目名 イ：指導者の質の保障・量の確保①

#### 取組事項

#### ①指導者の確保と研修

元協力隊の音楽家が市内に呼びかけ、市内音楽愛好家と協力し新たな受け入れクラブを立上げ、おばなざわ未来クラブ基本運営方針に基づき、中学生活動についての研修を実施

#### ②Education-Bankの設立

広く児童生徒の活動を支援する若手人材を確保

#### 人材バンクの人数

25名

#### 人材バンクの年齢構成

10代	0名
20代	0名
30代	8名
40代	15名
50代	0名

#### 登録者属性

市内在住者

#### ①起業家

・農業、商業、工業

#### ②旅館業

#### ③芸術家

※小中学校のキャリア教育や子供たちの心身育成に協力できる人材

#### 種目

音楽

#### 資格有無

無

#### 取組の成果

#### おばなざわ音楽クラブ

・元協力隊（元東京室内管弦楽団所属）の音楽家による多様な人々が音楽を楽しむ場の創出を希望。経験や年齢、性別にこだわらない「おばなざわオーケストラ」の発案、呼び掛けにより市内音楽愛好家が協力に応じて、クラブ創立に結び付いた。現在、さらに広く呼びかけ、楽器ごとに初心者に指導できる地域の大人を集め、クラブ体制づくりに取り組んでいる。

#### トライアル事業

・Education-Bankの起業家協力により探求型クラブのトライアルを実施し、さらに事業内容に他の起業家の協力もあり、活動の幅が広がった。



**OTB**

講演講師  不可

職場体験  不可

職場見学  不可

6〜8人くらい

折原 麻紀さん

連絡先

今まで販売やパリスタをしてお客さんを持つ前から、OTBに入社してからは自ら企画・提案し営業する側となった。これまでも違う事かしてみたかったという折原さんは、これからは属民に来た人が属民を楽しんで、好きになるようなツアーを企画していきたいという思いを持つ。プライベートでは、「ドクキキ」の創設メンバーであり、運営の中心的人物でもある。

**IDEr LAB(イデラルラボ)**

講演講師  不可

職場体験  不可

職場見学  不可

要相談

加藤 穂介さん

連絡先

高校卒業後は地元企業に就職し、その間勝手に映像やデザインについて学び独立。ドローンを活用したダイナミックな映像やポスターを多く手がけるクリエイターの横もつ加藤さんは「誰もしていないことをするのが基本的に好き」とのこと。現在、職業用ドローンを買って商業を盛り上げるため奔走中。「属民から離れる選択は人生で一度もなかった」地元愛溢れる起業家。

# 2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備  
 イ：指導者の質の保障・量の確保  
**ウ：関係団体・分野との連携強化**  
 エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実  
 カ：参加費用負担の支援等  
 キ：学校施設の活用等  
 ク：その他の取組



## 取組内容

### ●取組項目名 ウ：関係団体・分野との連携強化

#### 取組事項

##### ■吹奏楽部

##### ・「北村山吹奏楽団」

顧問と保護者と部活動改革を協議する上で協力体制構築に関する協力や助言を依頼

##### ・「山形県立北村山高等学校」

これまで一番問題となっていた楽器については、地域にある県立北村山高等学校と令和5年度から協議を重ね、廃部になった吹奏楽部の楽器を借用し、市が責任をもって維持管理することで了承を得た

##### ■新たな活動

##### ・「企業懇談会」

中学生へのアンケートでやってみたい活動に料理(13.6%)、映像(24.7%)があり、トライアルを実施するにあたり、市の企業懇談会とも協力し実施

#### 取組の成果

##### ①令和6年9月に2回の音楽クラブトライアルを実施

トライアルを実施する際にも北村山吹奏楽団の代表の方に協力をもらい実施し、山形県立北村山高等学校所有の金管楽器、木管楽器、打楽器、弦楽器に触れる機会を一般から小学生まで楽しんだ。

11月に「おばなざわ音楽クラブ」を設立し、中学生から高校生、一般の大人まで参加し、12月には保育園のクリスマスコンサートを実施している。現在、初心者を受け入れするための準備を行っている。

##### ②「Creative Obane Club」

市内で起業した事業所の協力でデザインについて学び、ポロシャツにデザインロゴをプリント作業を体験し、第2回目は市内でカフェを開店した起業家から話を聞きメニュー表を制作するなど、市内事業所等を巻き込んだ形でトライアル事業が実施できた。

##### ③もったいないを料理で解決「料理クラブ」トライアル

市内フードコーディネーターを講師として、地域資源に目を向け「もったいない」視点で尾花沢を見る取組みと料理のできることを学んだ。小学生と中学生と一緒に意見を出し合い、講師にレシピを起こしてもらい調理を実施した。自分の住む尾花沢の豊かな地域資源と地域人材を知り、さらに付加価値を料理で付ける取組みをすることで、郷土愛を育む機会となった。

### おばなざわ未来クラブのトライアル活動がスタートしました！

尾花沢市では、今年度から学校部活動の休日活動の地域移行と部活動の任意加入制度を導入しました。文科系新規クラブ「探究クラブ」「音楽クラブ」「料理クラブ」の立ち上げに伴い、10月からお試し体験(トライアル)を行ったので、活動の様子を紹介します！

<h4>01 CREATIVE OBANE CLUB(探究クラブ)</h4> <p>9/12(木)18:30~20:00 Tシャツづくり体験</p> <p>CREATIVE OBANE CLUB(略:COB)のトライアルでは、今後のユニフォームにもなるTシャツづくりを行いました。COBの先生であるイデラルラボの加藤さんからTシャツづくりの行程を教えてもらい参加者それぞれが好きな場所にロゴを配置し、個性を出していました。</p> <p>今後の活動 【活動日】月曜2週土曜日 尾花沢について学びながらデザインについても学ぶことができ、活動を通して、フューチャーを育成し様々な機会を行います！</p>	<h4>02 音楽クラブ</h4> <p>9/18(水)、9/26(木)18:30~20:00 いろんな楽器に触ってみよう！</p> <p>音楽クラブでは、参加者の皆さんに教えるために尾花沢市の音楽愛好家の方々がたくさん集まってくれました！「君をのせて」と「風になりたい」の2曲を練習いただき、とても素敵な演奏から活動がスタートしました。半拍子などを交えながら一体感のある空間になりました。演奏後は、「フルート」「サクソフ」「トランペット」「ドラム」など様々な楽器に触れ体験しました。1番人気だったのは「ドラム」でした。</p> <p>今後の活動 【活動日】11/14から活動スタート！ 毎週木曜日 19:00~ サルナードコンベンションホールにて行います！</p>
---	---

#### 今後の課題と対応方針

- ①持続可能な運営とするための組織力向上を図る
- ②受益者負担と行政支援についての協議を行う
- ③学校、行政、地域（企業・団体）との連携強化のための取組みを検討する

## 2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備  
イ：指導者の質の保障・量の確保  
ウ：関係団体・分野との連携強化  
エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実  
カ：参加費用負担の支援等  
キ：学校施設の活用等  
ク：その他の取組



### 取組内容

#### ●取組項目名 カ：参加費用負担の支援等①

##### 取組事項

- ①安全保険加入の支援
  - ・おばなざわ未来クラブ所属クラブの児童生徒及び指導者分の保険料を支援
- ②公共施設使用料の支援
  - ・施設使用料の全額減免

##### 地域クラブに係る経費

###### ■イニシャルコストの分析

###### 【取組の成果】

・文化活動に関しては、音楽、探究、料理ともに新規での取り組みとなるため、行政の既存施設や企業の関わりの中で始めたことで初期投資が抑えられた

・音楽では、地元高校で廃部となった吹奏楽部の楽器を借用後に修繕を行い、楽器を所有していない、また初心者であっても参加が可能となった

###### 【今後の課題】

・本市では、小中学生を対象とした無償事業が多く実施されてきたことから、受益者負担に対して理解が進んおらず持続可能な団体運営について検討が必要である

◎音楽クラブ・・・楽器ごとの指導者が必要であり、まずは支える人の協力体制づくりが必要である。さらにクラブ運営をどのようにするかで、謝金の取り扱いや参加費を決定していく必要がある

◎探究型・・・地元事業所の協力によって実施されたが、持続可能な運営とするため今後も民間参入を推進し、受益者負担について広く周知を図る

###### ■ランニングコストの分析

###### 【取組の成果】

・行政でスタート時の支援を実施したため、各トライアル事業では安心して実施することができた

###### 【今後の課題】

おばなざわ未来クラブ運営方針では、スポーツ団体を想定した中学生からの年間負担金を決定しているが、文化活動に関して、特に世代に拘らず活動する団体については、現在検討中である。

・トライアル参加者へのアンケートでは、月三千円以上の費用負担について難色を示す保護者が多かったことから持続可能な運営に関し検討が必要である。

# 2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備  
 イ：指導者の質の保障・量の確保  
 ウ：関係団体・分野との連携強化  
 エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実  
 カ：参加費用負担の支援等  
**キ：学校施設の活用等**  
 ク：その他の取組



## 取組内容

### ●取組項目名 キ：学校施設の活用等

#### 取組事項

- 部活動改革における公共施設調整会議を市関係課と実施する
- 中学生活動団体は、スポ少、クラブチーム、保護者団体、おばなざわ未来クラブ等とする

- ①土曜日を中学生活動の日とし、優先的に中学生活動団体に充てる
- ②中学生団体の使用の際は、全額減免対応とする
- ③中学校2校の体育館等についても割り当てを当初から行う

#### 取組の成果

部活動の休日活動の地域移行の説明会の際に活動場所の確保に対する不安が多く聞かれたことから、庁内での調整会議を実施し上記記載内容について担当課が条例等の改正も行いながら実施した。

夏季、冬季それぞれに施設を割り当て、変更については各団体同士で話合うこととし調整している。なお、市の事業等により施設を活用できない場合は、半面ずつの使用や他市町村と練習を行うなどしている  
 生徒の減少により合同チームで大会出場する団体競技もあり、冬季間は本市の土間体育館を活用し練習を実施している。

#### 尾花沢市内中学生活動場所の調整について

目的：尾花沢市中学生の活動を支援していくため、活動場所を確保していく  
 経過：①教育委員会所管施設の社会教育課、教育指導室打合せ（11月、12月実施）  
 ②12/19部活動の休日活動に向けた活動場所の確保に係る調整会議（総合政策・商工観光課・社会教育課）

【現在の部活動数】※      は未来クラブ、      はスポ少での活動予定

福原中4活動	陸上	卓球	女子バレー	柔道														
尾花沢中11活動	陸上	卓球	女子バレー	剣道	ハンド	野球	サッカー	スキー	吹奏楽	バスケット	男子バレー							

【冬季間の土曜日午前中の練習】

福原中学校				尾花沢中学校				長根山体育館				サルナート		鶴子土間体育館
体育館	グラウンド	柔剣道場	体育館	グラウンド	ピロティ	柔剣道場	体育館	球場	サッカー場	館内	アリーナ	コンベンション	館内	鶴子土間体育館
陸上		柔道	バレー		野球	剣道	バスケット			陸上	ハンド	吹奏楽	陸上	サッカー
バレー			陸上				サッカー							野球

※福原中卓球部は土曜日夜に練習会を実施し、福原中陸上部及び尾花沢中陸上部は合同で土曜日午前中に練習会を実施する  
 ※尾花沢中ピロティはL字型になっており、投球練習が可能だが、全体練習としては鶴子で実施  
 ※バスケットとサッカーは交代で使用し、バスケットは長根山と豊沢小、サッカーは体育館と鶴子  
 ※陸上とバレー（男子バレーも含む）は交代で、福原中と尾花沢中の体育館

【夏季間の土曜日午前中の練習】

福原中学校				尾花沢中学校				長根山体育館				サルナート		鶴子土間体育館
体育館	グラウンド	柔剣道場	体育館	グラウンド	ピロティ	柔剣道場	体育館	球場	サッカー場	館内	アリーナ	コンベンション	館内	鶴子土間体育館
雨天時		柔道	バレー	陸上	野球	剣道	バスケット	野球	サッカー	陸上	ハンド	吹奏楽	-	-

※福原中卓球部は土曜日夜に練習会を実施し、福原中陸上部及び尾花沢中陸上部は合同で土曜日午前中に練習会を実施する  
 ※尾花沢中野球は長根山球場を使用し、雨天時はピロティで実施  
 ※雨天時は、福原中の体育館使用（サッカー、陸上）

#### 今後の課題と対応方針

今後も継続し、生徒の活動を支援していく。

## 2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備  
イ：指導者の質の保障・量の確保  
ウ：関係団体・分野との連携強化  
エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実  
カ：参加費用負担の支援等  
キ：学校施設の活用等  
ク：**その他の取組**



### 取組内容

#### ●取組項目名 ク：その他の取組

##### 取組事項

本市中学校の吹奏楽部の地域移行の際に、練習場所及び楽器使用について課題となっていた。山形県立北村山高校では、4年前に吹奏楽部が廃部になり、令和5年度から楽器借用について協議を実施した。

①山形県立北村山高等学校の楽器借用  
②公共施設の一部を楽器庫にするるとともに休日練習場所とする

##### 取組の成果

- 令和5年度から協議を続け、令和6年10月1日に賃貸借契約を締結する
- 金管楽器、木管楽器、打楽器を教育委員会管理施設（尾花沢市文化体育施設）に常時配置
- 借用後に楽器の修繕を尾花沢市で実施し、その後の管理修繕を市が責任をもって行う



##### 指導者の属性や配置の工夫

- ・指導者の属性  
地域人材の活用  
元地域おこし協力隊の音楽家  
（元東京室内管弦楽団所属）
- ・配置の工夫  
「おばなざわオーケストラ」を目指し、広く音楽愛好家に呼びかけ人員を確保した。

##### 一貫指導に関する部活動顧問との連携事例

現状、中学校では「コンクール」での順位を大きな目標に掲げていることが、地域移行に取り組みにあたって非常に大きな問題となっていた。そのため、これまでの中学生や顧問の思いを継続する保護者主体の休日活動団体を立上げ運営を行い、一方で代や経験に関わらず誰もが音楽を楽しめることを目標とした団体を設立することで選択の幅を広げた。

将来的に音楽祭などで交流を目指す。

##### 今後の課題と対応方針

- 楽器破損時の対応についてのルール化

### 総括・成果の評価・今後に向けて

#### ●総括

部活動の休日活動の地域移行にあたり、学校への聞き取り、保護者役員会や保護者会での説明会などを繰り返し、吹奏楽部については保護者会主催で休日活動を実施することとなり、将来的な受け皿として多くの地域音楽愛好家が協力し、新しいクラブを立ち上げることができた。

令和5年度から継続して高校側と協議を行い、その間、一つ一つ楽器の所有について確認し令和6年10月に賃貸借契約を締結し、保管場所についても庁内で協議を行い、公共施設内の1部屋を永続的な楽器庫として使用することとした。

また、アンケートの際にやってみたい活動の声が多かった料理や映像を使った探求型クラブのトライアルでは、持続可能な運営をするにあたって起業家と協議を続けながらも費用負担や企業や団体などの地域連携の強化を図る必要性がある。

#### ●成果の評価

**本事業の以下について実施できたことから、今年度の本事業目的をおおむね達成した**

- ①令和6年度4月おばなざわ未来クラブを設立済
- ②おばなざわ未来クラブに「おばなざわ音楽クラブ」を設置済
- ③事業実施の際に地域団体である北村山吹奏楽団や市内事業所と連携
- ④公共施設、学校施設を活用し中学生の活動の場を確保
- ⑤楽器賃貸借契約の完了

#### ●今後に向けて

- ①アンケート調査を行い、生徒、顧問の状況を確認する
- ②アンケートを元に令和7年度もトライアル事業を実施し、市内起業家や事業所と連携し地域で児童生徒の育成に取り組んでいく
- ③対象を広げ、年代や居住地域も限定せずに実施することも検討していく

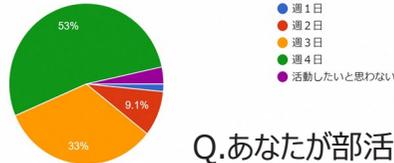
# 2.実証内容と成果②

## アンケート結果・参加者の声

### ●アンケート結果

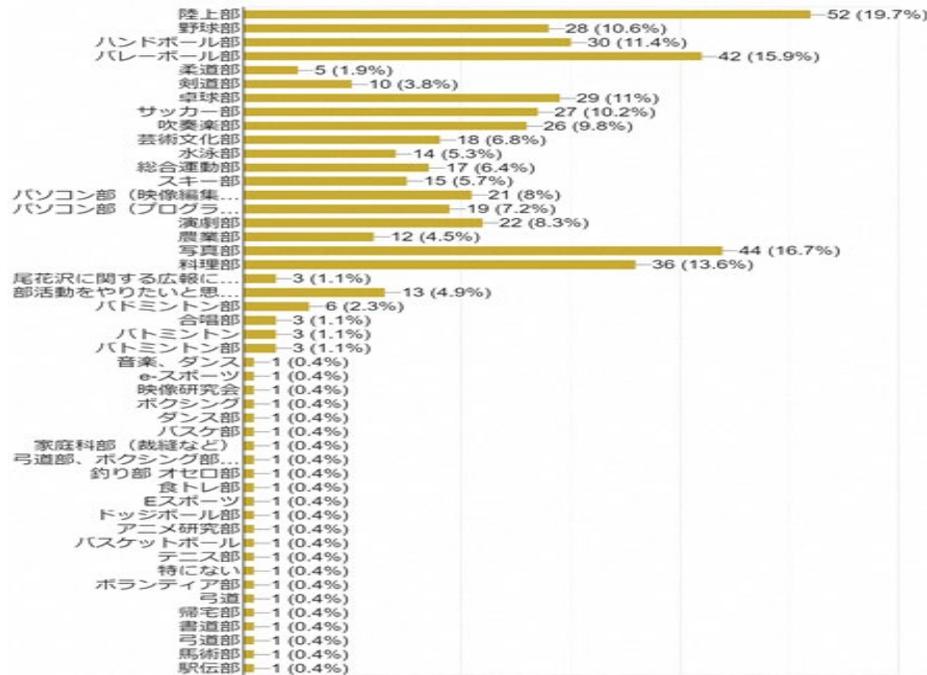
Q. 1週間のうちどれくらい活動したいと考えていますか?【平日】

Q5 1週間のうちどれくらい活動したいと考えていますか? (考えていましたか?) 【平日】  
264件の回答



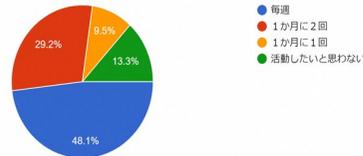
Q.あなたが部活動にあればやってみたい活動はなんですか?

Q10 あなたが部活動にあればやってみたいと思う活動はなんですか? (最大3つまで)  
264件の回答



Q. 1週間のうちどれくらい活動したいと考えていますか?【土曜日】

Q6 1週間のうちどれくらい活動したいと考えていますか? (考えていましたか?) 【土曜日】  
264件の回答



### ●参加者の声

中学3年生男子

CREATIVE OBANE CLUBトライアル

同じデザイン、ロゴでも自分が伝えたいことが何かで、配置が全く違って、印象がちがうことに驚きました。簡単だからこそ、難しい!

中学3年生女子 料理クラブトライアル

いつも忙しい母の手伝いをしている中で、料理が好きになっていました。将来、私も料理に携わりたいと思って参加しました。尾花沢には、たくさんの“もったいない”があって、豊かなところに住んでいるんだと改めて思いました。

CREATIVE OBANE CLUB指導者

株式会社イデラルラボ 代表 加藤 健介さん

尾花沢の子供たちに何か協力したいと思っていました。たくさんの資源があって、自分の住む地域の魅力を感じてほしいと思い協力させていただきましたが、勉強になりました。

おばなざわ音楽クラブ指導者

元地域おこし協力隊 加藤 皓平さん

尾花沢にいて年代を問わず、音楽を楽しみ楽器に触れる機会があったらと考えていました。その中で、中学生や小学生の皆さんが、たくさんの人と関わりを持ち豊かな人生になったら素晴らしいです。

## 2.実証内容と成果③

## 【トライアルの様子】

### アンケート結果・広報資料

- チラシは、楽しさを全面に見た生徒が自分も作ってみたい！と思うよう  
なデザインを心掛け、視覚を重視し作成している
- これまでの様子も映像で配信
- 年度末にも発行予定

おばなざわ未来クラブのトライアル活動がスタートしました！

尾花沢市では、今年度から学校前活動の休日活動の地域移行と部活動の任意加入制度を導入しました。文科系新規クラブ「探究クラブ」「音楽クラブ」「料理クラブ」の立ち上げに伴い、10月からお試し体験(トライアル)を行ったので、活動の様子を紹介します！



【生徒への参加啓発チラシ】

【アンケート結果】

出典:尾花沢市教育委員会

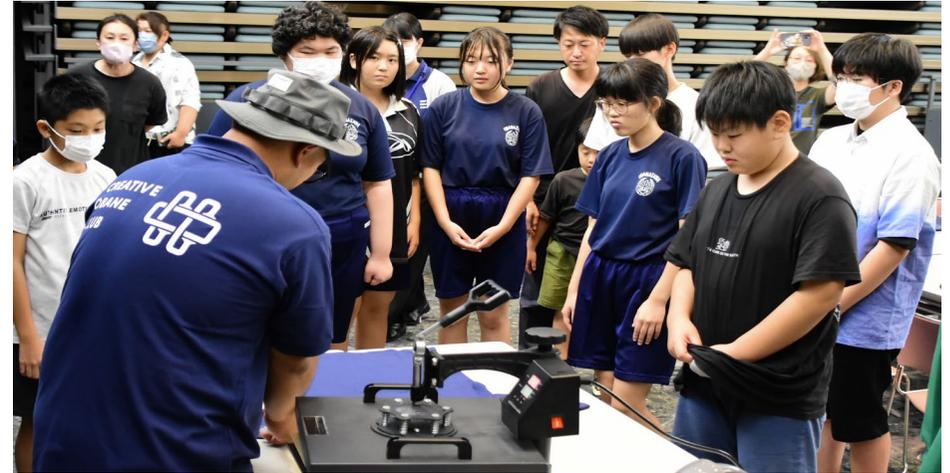
出典:尾花沢市教育委員会

## 2.実証内容と成果④

### 参考資料（活動写真）



【音楽クラブトライアル】



【CREATIVE OBANE CLUB 第1回トライアル】



【CREATIVE OBANE CLUB 第2回トライアル】



【料理クラブトライアル】

## 2.実証内容と成果

### 地域文化クラブ活動の実施に至るまでの合意形成プロセス

令和5年

学校部活動の  
地域連携・地  
域移行協議会  
設置

部活ごとの保護  
者説明会、役  
員説明会・学校、  
顧問聞き取り

令和6年

おばなざわ未来  
クラブ設立  
地域人材、事  
業所交渉

活動場所の調整  
楽器借用の交渉

令和7年

中学校吹奏楽部  
の状況調査、  
新規クラブ立上げ

令和8年

地域クラブ活動  
の拡大

#### ●経過

- ①顧問から現状と地域移行する際の問題の聞き取りを行う
- ②部活動保護者会長会を対象に部活動改革について説明会を実施
- ③教職員向けに部活動改革について説明会を学校ごとに2回開催
- ④部活動ごとに保護者説明会を実施
- ⑤地域移行を実現するための意見交換会を保護者対象に実施

#### 実施にあたって生じた課題

- ①生徒、保護者、顧問ともに非常に不安を感じており、「できない」という気持ちが強い
- ②音楽室が4階にあり、外部の出入りができない

#### ●実施内容、工夫した点等

- ①説明会は、それぞれの立場で地域移行を検討してもらうために保護者と教員向けに別々に実施し、教育委員会主導で実施

#### ●経過

- R6.4 おばなざわ未来クラブ設立  
9 音楽クラブ、CREATIVE OBANE CLUB、料理クラブトライアル実施  
11おばなざわ音楽クラブ設立

#### ●実施にあたって生じた課題

持続可能なクラブ運営のための費用負担と行政支援の在り方

#### ●実施内容、工夫した点等

- ①地域人材と事業所への部活動改革の周知を何度か行い理解を得た
- ②全庁で部活動地域移行の取組みの情報共有を行い、支援について取り組んだ

#### ●経過

- ・アンケート調査を実施
  - ・市の部活動改革方針を現状に合わせ、協議会で見直しを実施
- 実施にあたって生じた課題
- ・持続可能な運営のための費用負担と行政支援の在り方

#### ●実施内容、工夫した点等

- ・学校、行政、地域の連携強化を図る

## 地域連携・地域移行の推進に向けたロードマップ

### 部活動地域移行ロードマップ

中学校の休日活動の地域移行への準備

休日活動の地域移行の実施

実施状況の検証と将来展望

令和5年度

Step  
01

#### 休日活動の地域移行準備

- 部活動の地域連携・地域移行支援協議会の設立
- 事業説明会の開催と地域への周知活動
- 地域人材、地域事業所への事業説明と協力体制の構築

令和6年度

Step  
02

#### 休日活動の地域移行実施

- おばなざわ未来クラブの立上げ
- 吹奏楽部、学校との協議
- 県立高等学校との楽器借用に関する協議
- 新規クラブ立上げ及び新規クラブトライアル

令和7年度

Step  
03

#### 中学校現状調査及び地域クラブ活動の拡大に向けての取組み

- 生徒、教員、保護者へのアンケート調査の実施
- 持続可能なクラブ運営のための費用負担と行政支援の在り方検討
- 新規クラブ立上げのための地域人材、事業所との連携強化

長期  
ビジョン

#### 10年後の生徒数減少にあっての活動

- 広域活動のための市町村連携
- ビジネス事業の活用 等